

| | | | |
|---|---------------|--------------------|----------|
| 題名 | 患者情報登録・編集機能改修 | | |
| システム名 | カテレポ | プログラム名 (モジュール名) | 患者情報登録画面 |
| 【変更理由】 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、新規に患者情報を登録した後は、無条件で新規CAG登録・編集画面に移行している。この場合、PCIを行う際には一度編集画面を閉じて新たにPCI登録する必要がある。この手順が冗長なので、新規患者情報登録後はカテレポ一覧画面に移行して、新規登録を選択できるようにして欲しい。 ・ 登録されている患者情報(氏名)に関して間違っている場合には、操作側で編集できないので管理者に連絡する必要がある。この手順を簡略化し、操作側で編集可能にして欲しい。 | | | |
| 【変更仕様】 | | | |
| 9 概要 | | | |
| 1.1 患者情報登録 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規患者登録時は、全データを入力可能とする。また、入力完了して登録後はCAG新規登録・編集画面へ移動するのではなく、カテデータ一覧画面に移動する。これにより、どのデータを新規作成するかを選択することが可能となる。ただし、オプション設定により、今まで通りCAG新規登録画面に直接移動(現状通り)を可能とする。 | | | |
| 1.2 患者情報編集 <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存患者情報編集時は、患者氏名のみ編集可能とする。また、編集完了後は、患者検索画面へと戻り、処理を継続する。 | | | |
| 10 画面仕様 | | | |
| 10-1 患者情報登録画面 <ul style="list-style-type: none"> ・ 画面構成については変更なし。 | | | |

10-2 患者情報編集画面

患者選択

ログインユーザ: cvm

患者毎表示 カテーテル検査毎表示

新規患者 メニューへ戻る

検索条件(AND検索)

患者ID ※前方一致

氏名 ※部分一致

ふりがな ※部分一致
くんれん

生年月日

性別
 男 女

カテーテル検査日

日付指定
2009 年 3 月 19 日
2009 年 3 月 19 日

本日
 過去一週間
 指定なし

検索

検索条件クリア

検索結果 1件 見つかりました

レポート作成別表示 完成済 作成中 未作成

検索結果印刷 完成済レポート印刷

| 患者ID | 患者氏名 | かな氏名 | 生年月日 | 年齢 | 性別 |
|---------|------|----------|------------|----|----|
| 6217913 | 訓練患者 | くんれんかんじゅ | 1970/12/31 | 38 | M |

編集したい患者情報を右クリックすることにより、確認画面が表示される。「Yes」を選択することに

カテーテルレポートシステム患者情報登録

患者ID

氏名

かな氏名

生年月日

性別
 男 女

登録(Y) キャンセル(N)

情報編集時には、患者ID以外変更可能。登録->変更にして、ボタン押下後は患者検索画面に戻る。戻る際には、変更が適用されるように再検索を実行して表示させる。

11 チェック条件

1 2 帳票仕様

1 3 ファイル仕様

1. データベーステーブル

本改修サポートに伴う既存ファイルの変更はない。データとしては、PATIENT_BASIC4.NAMEに対してのみUPDATEを実行する。

2. KATEREPO.INI

新規患者登録後の動作を選択するためのオプションを設定。

[OPTION]

GO_DIRECT: 0->NO 1->YES

1 4 運用

クライアント側のログファイルに、患者情報変更の情報を記述する。

1 5 環境

1 6 取り込み時注意事項

1 7 関連システム

1 8 性能設計

1 9 その他

※ frmPtList

◇ cmdAdd -> 呼び出し自体には変更なし。呼び出し先にて全て対応

◇ SprList -> RightClickイベントを新規登録。患者編集画面を表示するかどうかのMsgBoxを表示して選択を促す。デフォルトはNo。Yesの場合は新規患者登録画面を編集用として表示する。

※ frmPtInfoReg

◇ cmdnew

編集時には、「適用」ボタンとして表示を変更する。タイトルも変更。また、ボタン押下時は新規作成と編集時により動作及び遷移先を変更する。

◇ pblnForward

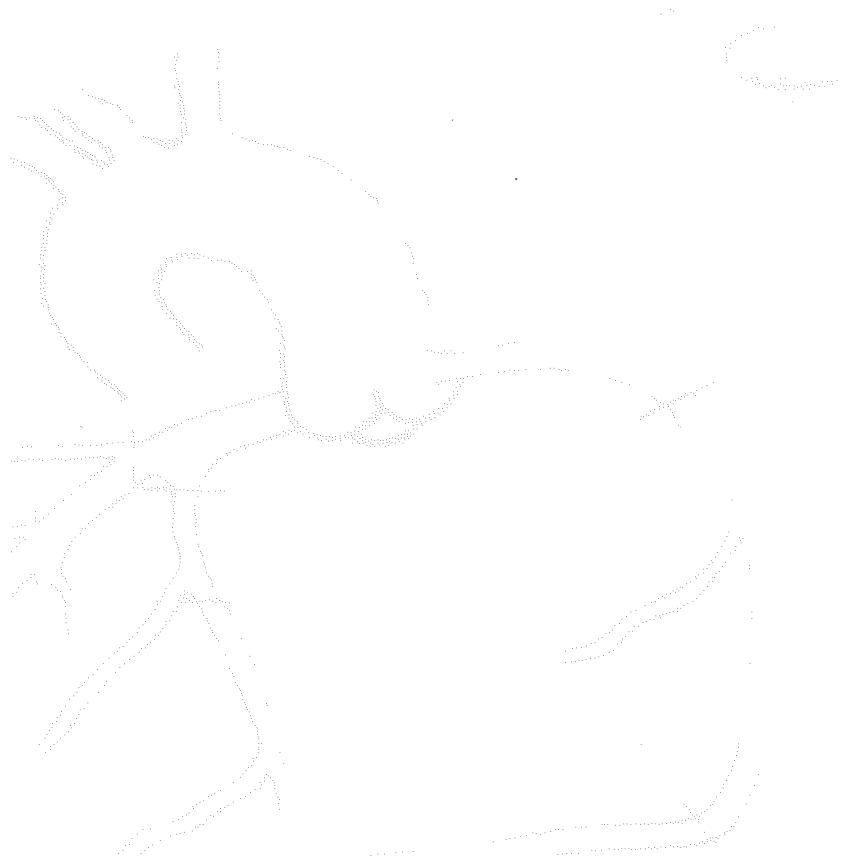
この処理自体を不要とするかどうか判断が必要。

gfrmPtMain.pintOpen()を最終的に呼び出しているため、この部分は確実に変更される必要がある。但し、この関数を呼ぶ為の準備をしているロジック自体も不要になるので、それらも含めて見直しが必要。

新規作成時には、frmKaterepoListを表示するかpblnForward処理にするか、設定にて条件分岐する

ように改修。

編集時には、元のfrmPtListに戻る。



| | | | |
|-------|-------------------|--------------------|--------------|
| 題名 | PCI SITE画像表示サイズ変更 | | |
| システム名 | カテレポ | プログラム名 (モジュール名) | PCISITE 編集画面 |

【変更理由】

- ・ PCISITE編集画面にてPCI SITE設定用の画像が表示されるが、表示サイズが100%になっていて、一部表示ウィンドウからはみだしている。これを、最初から全画像が収まる様に初期設定を変更して欲しい。

【変更仕様】

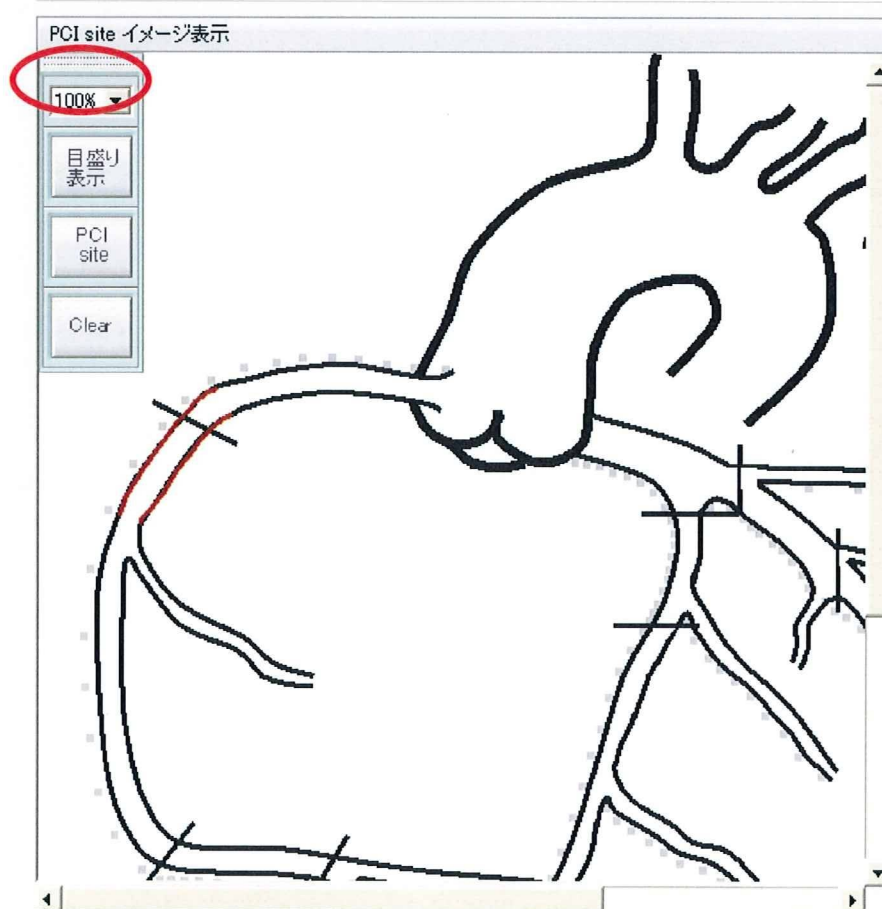
20概要

- ・ PCISITE編集画面初期表示時に、初期設定を確認してその内容を元に表示サイズを設定し、画像を表示する。
- ・ 初期設定に関しては、KATEREPO.INIにて新たに項目を作成し、その内容を参照する。

2 1 画面仕様

9. PCI SITE 設定画面

- ・ 画面構成については変更なし。画像表示時のデフォルトサイズ設定を変更して表示。



2 2 チェック条件

- ・ 初期状態以外でデフォルト値を参照して表示サイズが強制的に変更されない事

2 3 帳票仕様

5 ファイル仕様

1. 初期設定ファイル

KATEREPO.INIに初期パラメータを新規に登録する。

6 運用

7 環境

8 取り込み時注意事項

9 関連システム

1 0 性能設計

1 1 その他

※ PCISite.UserPCISiteitem

◇ KATEREPO.INIから該当設定情報を取得する (詳細未定)

◇ 必要であればPCISite.UserPCISiteitem.UserControl_Initialize()にてcmbZoomの初期値を変更する

| | | | |
|-------|-----------------|--------------------|--------------|
| 題名 | カテーテル検査毎表示データ追加 | | |
| システム名 | カテレポ | プログラム名 (モジュール名) | カテーテル検査毎表示画面 |

【変更理由】

- 患者検索画面にて検索後、カテーテル検査毎表示にてそのカテがどのような手技だったのか不明なので、カテーテルレポート一覧画面に移動しないと確認できない。そのため、操作の効率化を図る為にこのカテーテル検査毎表示でも基本的な情報を追加して表示して欲しい。

【変更仕様】

24概要

10. カテ基本情報追加

- カテーテル検査毎の結果表示で、以下のカラムを追加する。
 - 手技(診断、PCI、F/U等)
 - 診断(カテ施行理由)
 - 緊急フラグ

25画面仕様

11.

26チェック条件

- 追加された表示項目が正常に取得・表示されているか

1. SQL文の変更
2. 表示項目名の変更
3. 表示項目順の変更

2 7 帳票仕様

5 ファイル仕様

1. データベーステーブル

本改修サポートに伴う既存ファイルの変更はない。データとしては、KATEREPO_BASIC.SHUGI 及び CATEGORY_INFO.DIAGNOSISが確実に取得されていること。

6 運用

7 環境

8 取り込み時注意事項

9 関連システム

1 0 性能設計

1 1 その他

※ カテーテル検査毎表示に関しては、固定カラム部分とスクロールカラム部分とに分かれている。それらも含めて現在のリストから以下のとおり変更する。(記述順が表示順)

- ◇ 固定部：患者ID、患者氏名、カテ日、手技、診断、緊急フラグ
- ◇ 可変部：第一術者、レポート、レビュー、CineNo、CD、かな氏名、生年月日、年齢、性別

※ frmPtList

- ◇ Loadイベント
フォームロード時はカラム情報の設定のみ実施。呼び出しているpSetList ()のみ改修する。
- ◇ pSetList ()
カラム情報設定がカラム番号で固定されているので、中に追加する場合には注意が必要。後ろに追加する場合にはそのまま追加分だけの処理を考慮する。また、緊急フラグ追加の際には、C009_010のADHOC PCIについての表示も同時に適用する。
- ◇ SprList.Click
患者番号カラムに対する条件処理がCOL#で固定されている為、表示カラム変更時注意が必要。
- ◇ CmdSearch.Click -> blnSearchPatients

実際に患者情報を検索するのはpGetListData () なので変更不要。

◇ pGetListData ()

1回目のSQL文は該当件数取得なのでそのまま。2回目のSELECT文にて追加カラムを適用する。検索条件についての変更はなし。念の為、順番もできるだけ表示順に合わせる。

| | | | |
|-------|------------|--------------------|----------------|
| 題名 | CAG 詳細項目追加 | | |
| システム名 | カテレポ | プログラム名 (モジュール名) | 診断カテーテルデータ入力画面 |

【変更理由】

- ・ 診断カテーテル情報入力画面にてCAGの情報を入力する際、morphologyをより細分化した形で入力したい。

【変更仕様】

28概要

12. CAG 情報登録

- ・ CAGタブでのそれぞれの狭窄度及びコメントを入力するが、そのコメントに関しての選択肢を追加する。

13.

29画面仕様

14.

| General info | PWD/LHC | LVG | CAG | バイパス狭窄度 | Collateral | Oximetry run/Fick法 |
|--------------|---------|-----|-----|---------|------------|--------------------|
| #1 | ▼ | #5 | ▼ | #11 | ▼ | |
| #2 | ▼ | #6 | ▼ | #12 | ▼ | |
| #3 | ▼ | #7 | ▼ | #12-2 | ▼ | |
| #4AV | ▼ | #8 | ▼ | #13 | ▼ | |
| #4PD | ▼ | #9 | ▼ | #14 | ▼ | |
| #4PL | ▼ | #10 | ▼ | | | |

コメントのリストボックスの値を追加して対応す

15.

30チェック条件

- ・ リストボックスの値への反映
- ・ 入力項目のデータベースへの登録

31 帳票仕様

5 ファイル仕様

1. データベーステーブル

本改修サポートに伴う既存ファイルの変更はない。データとしては、該当リストボックスの値一覧変更を実施。

6 運用

7 環境

8 取り込み時注意事項

9 関連システム

10 性能設計

11 その他

※ リストボックスへ登録する値の確認。名称、個数等は以下のとおり。

Filled by collateral

Haziness

Thrombus

計三個

※ `UsrDiagnosisCatheter.CreateStenosisComment`

直接、固定値をリストアイテムとして `AddItem()` にて追加している。今回の改修は、追加内容を同様にリストボックスに反映させる。KATEREPO.INIに外出しして汎用化はさせない。

| | | | |
|-------|--------------|--------------------|-------------|
| 題名 | Qp/Qs 計算方法変更 | | |
| システム名 | カテレポ | プログラム名 (モジュール名) | カテール検査毎表示画面 |

【変更理由】

- 画面に表示されているQp/Qsの計算結果が異なってる。

【変更仕様】

3.2 概要

16. 計算方法

- 現在の計算方法は以下の通り
 - ASD=yes、VSD=no → $(Aorta(FA)-(3*SVC+IVC)/4)/(Aorta(FA)-PAMain)$
 - ASD=no、VSD=yes → $(Aorta(FA)-(RA_{mid} + RV_{outflow} + RV_{aroundT})/3)/(Aorta(FA)-PAMain)$

この内容に問題があると思われるので、正しい計算方法を確認の上反映させる

- 変更後の計算方法は以下の通り
 - ASD=yes、VSD=no → $(Aorta(FA)-(3*SVC+IVC)/4)/(PV - PAMain)$
 - ASD=no、VSD=yes → $(Aorta(FA)-(RA_{mid} + RV_{outflow} + RV_{aroundT})/3)/(PV - PAMain)$
(Aorta(FA)をPVに変更)

3.3 画面仕様

画面の変更はなし。

| General info | RHC/LHC | LVG | CAG | バイパス狭窄度 | Collateral | Oximetry run/Fick法 |
|---|--|-----|---|--|------------|--------------------|
| Oximetry run | | | | | | |
| IVC % PA main % SVC % branch % RA high % mid % low % RV mid % out flow % around T value or RV apex % Aorta (FA) % LA % PV % Hb g/dl O2 Step-up at | <input type="checkbox"/> ASD <input type="radio"/> Yes <input type="radio"/> No <input type="checkbox"/> VSD <input type="radio"/> Yes <input type="radio"/> No <input type="checkbox"/> Qp/Qs | | Fick法 Hb g/dl SaO2 aorta or FA % SaO2 PA main or branch % HR | CO l/min CI l/min/m2 身長 167.0 cm 体重 50.0 kg | | |
| <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> この部分が該当する。計算方法を変更することにより、Qp/Qs 欄に表示される内容が変更される。 </div> | | | | | | |

3.4 チェック条件

- 変更された計算方法により、正確に結果が算出され、表示されているか

3 5 帳票仕様

5 ファイル仕様

6 運用

7 環境

8 取り込み時注意事項

9 関連システム

1 0 性能設計

1 1 その他

※ 過去のデータに関しては、レポートにデータが出力されている場合には変更してしまうと数値が合わないので作業自体の検討を行う。レポートに出力されていない場合には、データ変更を検討する。

※ MKSengen

◇ pASD_QP_QS ()

$(Aorta (FA) - (3 * SVC + IVC) / 4) / (Aorta (FA) - PAMain)$

-> $(Aorta (FA) - (3 * SVC + IVC) / 4) / (PV - PAMain)$

◇ pVSD_QP_QS ()

$(Aorta (FA) - (RAmid + RVoutflow + RVaroundT) / 3) / (Aorta (FA) - PAMain)$

-> $(Aorta (FA) - (RAmid + RVoutflow + RVaroundT) / 3) / (PV - PAMain)$

| | | | |
|-------|----------------|--------------------|---------------|
| 題名 | カテーター検査データ削除対応 | | |
| システム名 | カテレポ | プログラム名 (モジュール名) | カテーター検査一覧表示画面 |

【変更理由】

- ・ 誤ったカテーター検査データに関しては、システム管理者に依頼しないと削除することが出来ず、その処理が完了するまではそのデータが一覧に表示されてしまう。これを使用者側で削除できるようにして欲しい。

【変更仕様】

36概要

17. カテーター削除機能

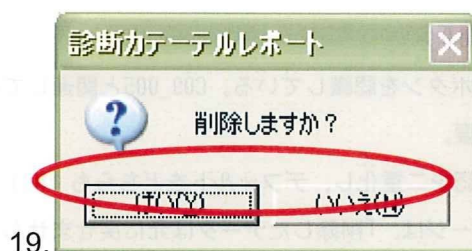
- ・ 現在、管理者モードでログインして、カテーター検査一覧表示画面にてデータが表示されるが、そのカラムを最後に「削除」ボタンが追加される。本改修では、このアカウントを限定公開した後、この機能を利用することを前提にする。その際、誤って削除しないように確認処理を二重化して注意を促す。

18.

3.7画面仕様

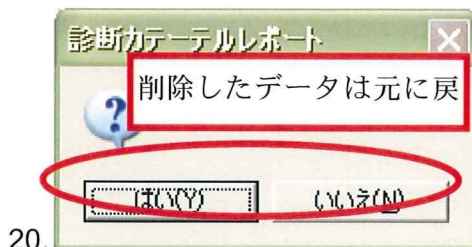
現在の削除確認画面にもう一画面追加して、チェックを二重にする。

<最初の確認画面>



19.

<二回目の確認画面>



20.

ボタンデフォルトに関しては両方とも「いいえ」に設

3.8チェック条件

- ・ 確認画面の二重化。2枚確認画面を用意してそれぞれ、デフォルトボタンを「いいえ」に割り当てることにより、必ず正しい操作を行わない限り、正常に削除処理が実行されないようにする。

3 9 帳票仕様

5 ファイル仕様

6 運用

7 環境

8 取り込み時注意事項

9 関連システム

1 0 性能設計

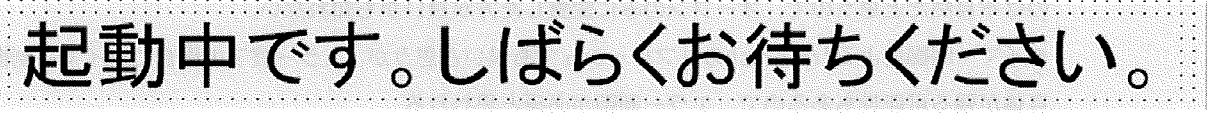
1 1 その他

※ frmKaterepoList

◇ SprList_ButtonClicked()

COL=15でデータ削除ボタンを認識している。C09_005と関連しているので、カラム項目が変更された場合には注意が必要。

MsgBoxによる削除確認を二重化し、デフォルトをどちらも「NO」とする。また、二つ目のダイアログボックスのメッセージは、「削除したデータは元に戻せません。本当に削除しますか?」として変更が不可逆である事を示す。

| 題 名 | 画面起動時表示対応 | | |
|---|-----------|--------------------|-----------|
| システム名 | カテレポ | プログラム名 (モジュール名) | 編集画面起動中画面 |
| 【変更理由】 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 編集画面が開かれるまでに「起動中です」の画面が表示されるが、この画面が白くなってしまい、本当に起動中なのかどうか判断できない。 | | | |
| 【変更仕様】 | | | |
| 40概要 | | | |
| 21. タイマー制御 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在表示している画面を、タイマー制御で表示し、何らかの形で起動中であることを認識できるようにする。 | | | |
| 22. | | | |
| 4 1 画面仕様 | | | |
| 23. 起動中画面 | | | |
|  <p>この画面の右側に何らかの形で起動が継続している事を明確に示す画像或いは文字列にて対応する。</p> | | | |
| 4 2 チェック条件 | | | |
| <p>※ この画面が表示された後に、エラーが発生して終了した場合にタイマー制御なども正常に終了するかどうかを確認する。</p> | | | |
| 4 3 帳票仕様 | | | |
| 5 ファイル仕様 | | | |
| 6 運用 | | | |
| 7 環境 | | | |

8 取り込み時注意事項

9 対象業務

10 カルテ記載

11 関連システム

12 性能設計

13 その他

※ frmPtMain

◇ pintOpen

処理中に直接frmSprashをオープン、リフレッシュしている。オープン直後にリフレッシュしているのは不自然だと思うので、オープンのみに変更した方が良いかも知れない。

タイマー制御によるfrmSprashのリフレッシュでも良いと思うが、エラー終了の場合にタイマー制御自体が残る可能性もあるので、エラー制御が必須と思われる。

| | | | |
|-------|--------------|--------------------|--------|
| 題名 | ADHOC PCI 追加 | | |
| システム名 | カテレポ | プログラム名 (モジュール名) | カテ編集画面 |

【変更理由】

- ・ 現在、診断(CAG)を実施している途中で狭窄が発見されると、PCIに移行するというフローで作業しているが、システム上それを行う場合、緊急PCIでのみ対応可能となっている。この場合、緊急ではないPCIでもデータの的には緊急PCIとなってしまう、統計データの的には正確に分類することが出来ない。診断->通常PCIのフローもシステムに追加して欲しい。

【変更仕様】

4.4概要

1-1データ状態の追加

現在、手技+緊急フラグによる分類は以下の通り

- 診断 (CAG)、通常 (PCIなし)
- 診断 (CAG)、緊急
- PCI、通常
- FOLLOWUP、通常

この分類に以下の分類項目を追加する。

- 診断 (CAG)、ADHOC

この分類を追加することにより、緊急PCIとADHOC PCIが識別可能となる。

但し、現状の緊急PCI移行ロジックを利用不可能にする事は避ける必要があるため、ダイアログに関しては運用可否のパラメータを初期化ファイルに追加して管理することとする。

1-2条件の追加

現在、緊急PCIでの対応を行っている箇所については、今回の項目追加により適切に処理できる必要がある。

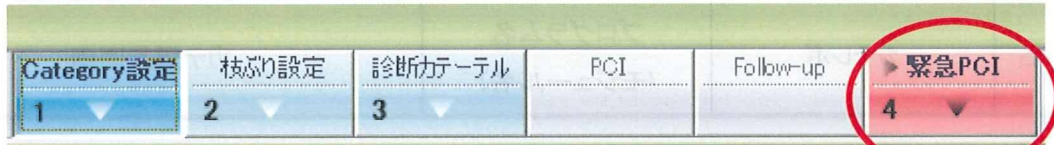
そのため、ADHOC PCIについての条件が必要かどうかの確認を行い、必要であれば追加する。

1-3表示項目の追加

緊急PCI表示されている箇所について、ADHOC PCIの項目を追加して表示可能とする。

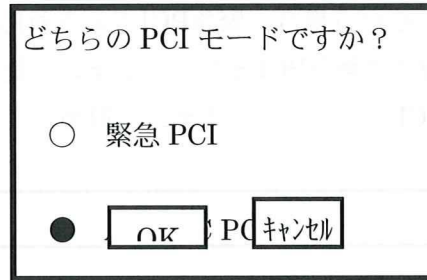
4 5 画面仕様

45-1 PCI遷移(新規登録時)



24.

25.

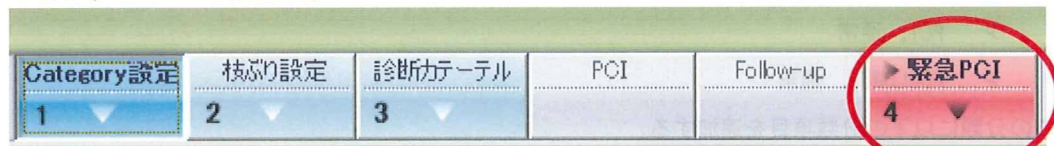


「緊急 PCI」ボタン

新たにダイアログを追加

PCIモード選択後は、緊急PCI登録と同じワークフローにて処理を行う。

45-2 PCI遷移(既存データ編集時)

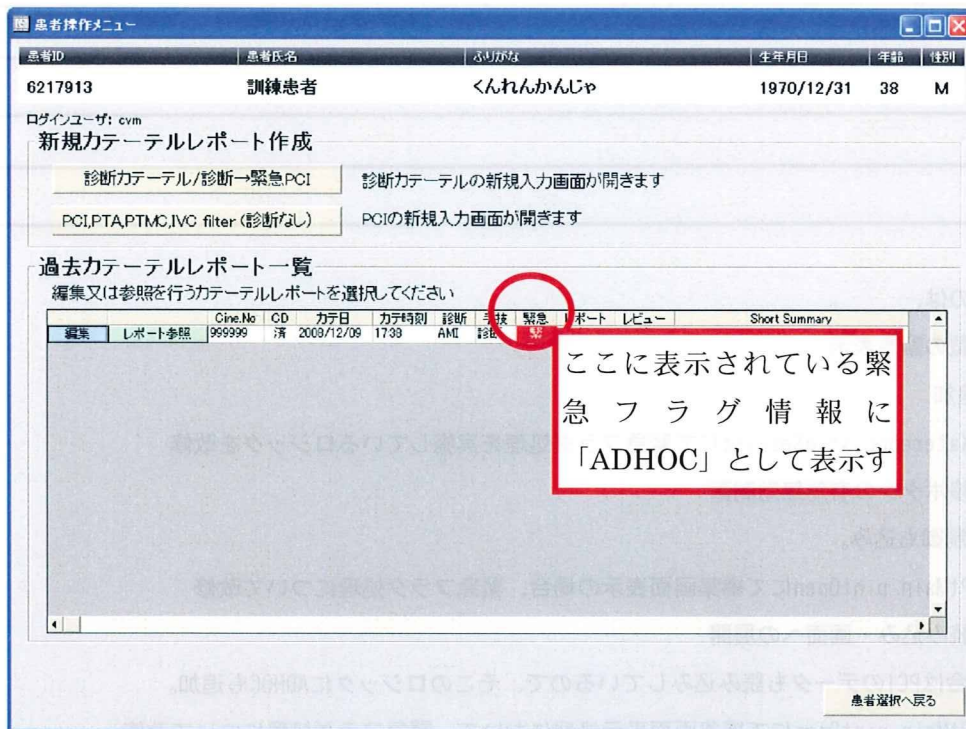


「緊急 PCI」ボタンを「ADHOC PCI」ボタンとして表示を切り替

緊急 PCI site

変更対象画像は、bar_kinpci.bmpとbtn_kpci2.bmpの2つである。画面表示以外は緊急PCIと同一のPCI処理で変更はなし。

45-3 ADHOC表示



4 6 チェック条件

4 7 帳票仕様

5 ファイル仕様

- KATEREPO.INI

新たに ADHOC 運用をするかどうかのフラグを追加する。

変数名:USE_ADHOC 値:0->使用しない 1->使用する

- データベース

KATEREPO_BASIC.EMERGENT に対して、以下の値を可能とする。

- 2 : ADHOC

6 運用

7 環境

8 取り込み時注意事項